

緑のボランティア通信

2024.10.1

No.94

川崎市からのお知らせ

思い出記念樹「樹繫きづな」の 配布対象を変更します

緑化推進・普及啓発事業として、人生の大切な思い出の記念に希望される方へ苗木を差し上げていますが、令和7年度以降に配布するもの（令和6年10月1日以降の申し込み受け付け分）から配布対象を変更します。

令和6年10月以降は、変更後の申込書に必要事項を記入し、お申込みください。

なお、変更前の申込書によりお申し込みいただき、配布の対象外であった場合、その申し込みは無効となります。

変更前

令和6年4月から9月に受け付け、10月中に配布するもの

配布対象：出生、入園（保育園・幼稚園）、入学（小学校）、成人、結婚、
銅婚・銀婚・金婚、賀寿（還暦・古希・喜寿・米寿・卒寿・白寿）、
新市民（市外からの転入）、住宅の新築



変更後

令和6年10月から受け付け、令和7年度以降に配布するもの

配布対象：出生、入園（保育園・幼稚園）、
入学（小学校）

* 配布対象の変更に関するお問い合わせ先 *

川崎市建設緑政局緑政部 みどり・多摩川協働推進課
緑化推進担当 ☎044-200-2380



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

川崎市からのお知らせ／思い出記念樹「樹繫（きづな）」の配布対象を変更します	1
開催報告（6月～8月）	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

開催報告（6月～8月）

第20回わがまち花と緑のコンクール表彰式

6月29日（土）に第20回わがまち花と緑のコンクール表彰式を中原市民館にて開催しました。

市長より入賞者に賞状を頂き、その後、今回が第20回という節目であることから特別記念講演としてNPO法人グリーンワークス代表牧野ふみよ先生にご講演を頂きました。その他にも全応募作品の展示を行うなど、すばらしい表彰式となりました。



個人部門大賞「森田 和子」さん



団体部門大賞「花クラブ実行委員会（2班）」



特別記念講演



全応募作品の展示



ボランティア運営委員の皆さん

里山ボランティア育成講座かわさきの森づくり

番外編「かわさき街中緑づくり」

今年度のかわさきの森づくりでは、6月から7月に番外編として「かわさき街中緑づくり」を開催しました。この番外編では、7区の身近な公園でツツジ・アジサイ等の樹木の剪定・手入れを参加者に学んでいただきました。各回ともに参加者の方からは「わかりやすい剪定方法を教えてもらった。植え込みがキレイになると達成感がある」といったお声をいただきました。



剪定・手入れの説明



ボランティアスタッフと参加者で剪定・手入れの実技



作業前



作業後

お知らせ

「かわさき街中緑づくり」は終了しましたが、当協会ではボランティア団体への活動支援を行っています。お困りの方は当協会にご相談ください。

☎ 044-711-6631

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

むかおカルピナス (2024年設立)

活動場所 宮前区役所向丘出張所敷地内 (宮前区平1丁目1番10号)
交通案内 川崎市営バス「向丘出張所」バス停すぐ



我が街に緑でほっとする場所が欲しい・・・できる人ができる時間に作業する。ゆるい繋がりの花壇ボランティアチーム「むかおカルピナス」は令和6年3月に発足致しました。

宮前区役所向丘出張所において、開催されました「花壇ボランティア養成講座」終了後、植物好きの30代から80代の15名が集合し、現在のチームメンバーが誕生しました。ボランティアチームの活動は、バス通りに面した向丘出張所庁舎花壇。月1回です。チームの誰もが庁舎にふらっと寄って花がらを摘んだり、雑草を取ったり、水やりなどの作業ができる様に庁舎外には、作業に必要な備品の収納ボックスを準備



していただきました。

今後は、来庁される方々がエントランスや花壇に癒やされ、家庭で出来上がったコンポストを持ち込み、SDGs等環境を意識した花壇を心掛けたいと考えています。そんなこんなで地域の方々のご縁と繋がりを広げる「むかおカルピナス」チームです。
(吉永 順子)



野川東耕地公園管理運営協議会 (2021年設立)



活動場所 野川東耕地公園 (宮前区野川本町2丁目26-5)
交通案内 川崎市営バス「野川郵便局前」バス停下車 徒歩3分

私達が活動しているこの公園は、宮前区の東端の野川本町2丁目にあり、マンション建設にあたり川崎市に提供された「提供公園」です。2019年3月31日に定年退職していた私は、同年8月公園の銘板に貼られた「公園の除草をしてくれるボランティア募集」のメモ書きを見つめました。公園協会の「緑のボランティア」をしていることから「私がしなくては」と思い、12月に宮前区役所道路公園センターへ「除草ボランティアをします」と連絡して活動を開始しました。活動にあたって小さなカマと熊手を買ひ、3日間で全面の除草を終了させました。その後、道路公園センター



を訪問した際に、ボランティア活動をするにあたり「公園緑地愛護会」の結成をすすめられました。そこで、運営団体をこの公園を提供したマンションの管理組合にお願いし、会員募集と備品の保管も依頼しました。そして、愛護会結成に必要な人員を確保することができ、2020年1月に公園緑地愛護会設立届を提出し、併せて花壇造成場所3カ所6.7㎡を許可してもらいました。2021年4月には公園緑地愛護会から「管理運営協議会」に移行しました。公園での活動は年間計画の作成・中低木の樹木の剪定・除草・遊具(スベリ台、ジャングルジム、鉄棒)の点検、花壇作りでは年2回花苗の植付けを実施しています。公園内は芝生での休憩、遊びに最適で、春は桜が咲き、秋はキンモクセイが香り、花壇は花苗がキレイに咲いています。毎月1回会員による清掃のほか、気が向いた人がジョーロ片手に花苗に水やりをしています。尻手黒川通りから細い坂道を登ると、途中で芝生の緑と咲いた花苗が迎えてくれる、ホッと一息をつける場所です。
(辻 義光)

いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。



コイネ
子犬のしっぽみたいに
見えるでしょ？
でも、僕にじゃれてくるのは
ネコなんだ。

13 「エノコログサ」

(イネ科・エノコログサ属)

Setaria viridis

ユーラシア大陸を原産とする一年草。農耕の伝来と共に日本へ渡来したと考えられているが、今日では北海道から沖縄まで至るところに分布している。路傍や空き地など人の手が入りやすく、かつ乾燥した場所に多い。名前の由来には諸説あるが、7月頃から見られる穂が子犬の尻尾に似ているため“犬ころ”が転じてエノコロと呼ぶようになったとする説が根強い。エノコログサの穂で猫をからかうと、猫が夢になってじゃれることから、別名をネコジャラシという。最も身近な一年草の一つであり、地方によって様々な呼び名がある。

ザッソウ ヒトコト
“雑草”の一言で
片づけないで。

ハートのステッキに小さなホウキ。
ひっくり返せば線香花火！
ほら素敵でしょ？

14 「メヒシバ」

(イネ科・メヒシバ属)

Digitaria ciliaris

北海道から沖縄まで全国に分布する一年草。日当たりの良い道ばたや水田畔、空き地のほか、畑地でも極めて普通に見られる。穂の太いオヒシバ（雄日芝）に対して、繊細で細い穂を付けることからメヒシバ（雌日芝）と名付けられたとされている。穂を下に向けて結ばば傘になり、2本だけの穂を残して結ぶとハートのステッキになる。何本か集めて結ばば小さなホウキ、究極は、ひっくり返して持つだけで線香花火など、シンプルな容姿だけに発想次第でいかようにでも遊べる植物である。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究者)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使われていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>